

私たちの知らない『野寄』 - まえがき, 目次

著者	甲南大学久保ゼミ, 久保 はるか
雑誌名	「大学周辺地域の歴史を知る」シリーズ
巻	1
ページ	1-2
発行年	2017-05
URL	http://id.nii.ac.jp/1260/00002909/

まえがき

二〇一六年度、甲南大学法学部久保ゼミでは、ゼミ活動の一環として、『私たちの知らない「野寄」』という冊子を作成することになりました。この冊子は、野寄地域に古くから住んでおられる方々の体験を通して、野寄地域の歴史や地域の個性を知ることが目的としています。野寄地域に長年お住まいの方々に、野寄での生活や幼少時代の思い出、地域の行事、各種団体などについてお話を伺いました。お話を伺ったのは、四〇代〜八〇代という幅広い年齢層の方々に、それぞれの年代のご体験から野寄地域の歴史を見ることが出来ます。ムラ的と言われる野寄の地域性や、住吉川など野寄の景色の移り変り、戦時中に焼失した野寄の「だんじり」を復活させた経緯と野寄における「だんじり」の位置づけについて、それぞれの年代の方々に伺いました。戦争を体験された八〇代の高井さんには、戦前戦時中の野寄の様子について貴重な話を伺いました。さらに、久保ゼミでは二〇一三年一〇月三十一日に、前野寄財産区会長の渡辺利信さんにもお話を伺っており、その時に伺った内容をまとめたいのも掲載しております。渡辺さんは二〇一六年三月に八八歳で逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

さて、私たちは、この『私たちの知らない「野寄」』を次のように活用してもらいたいと考えています。

- ①野寄の歴史を知る人が少なくなってきた中で、文字に起こして冊子という形に残すことで、地域の伝統を将来の世代に残すことができる。
- ②地域住民や地域のことをあまり知らない地域の子どもたちに、『私たちの知らない「野寄」』から野寄の歴史を知ってもらい、より一層地域に愛着を感じるようになってもらいたい。
- ③新しく移り住んだ住民の方にも『私たちの知らない「野寄」』を読んでいただき、共通の話題ができれば、新旧住民同士のつながりが強くなるのではないかな。
- ④野寄地域に接し、日頃から住民の方に見守っていただいている甲南大学の学生にとっても、野寄地域について知り、興味を持つきっかけになってほしい。

当冊子の作成に際しては、野寄財産区会長の木下昭満さんに住民の方を紹介していただきました。木下会長、取材に応じてくださった皆様、会場をご提供くださった本山西地域福祉センターの皆様、この度はご協力いただきました。誠にありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

野寄地域では現在、木下会長が中心となって、古くなった『本山村誌』の内容を更新し、野寄地域に特化した『野寄村誌』を新たに発行する予定です。文章を現代風にアレンジし、読みやすくなっているそうです。こちらもぜひともご一読いただければと思っております。

目次

「渡辺さんの音声記録」	渡辺 利信さん	3 頁
「私と地域とのかかわり」	木下 昭満さん	11 頁
「私が生きた野寄と歴史」	坂本 武士さん	18 頁
「引き継がれる村、野寄」	船引 泰造さん	21 頁
「野寄との思い出と関わり」	藤本 圭子さん	24 頁
「大正から平成、野寄の歴史と私の記憶」	高井 史郎さん	28 頁